

此式了日記
武藏風土記

093.1	年
2006	月
佛教大学図書館	



2005495417





丹鶴叢書

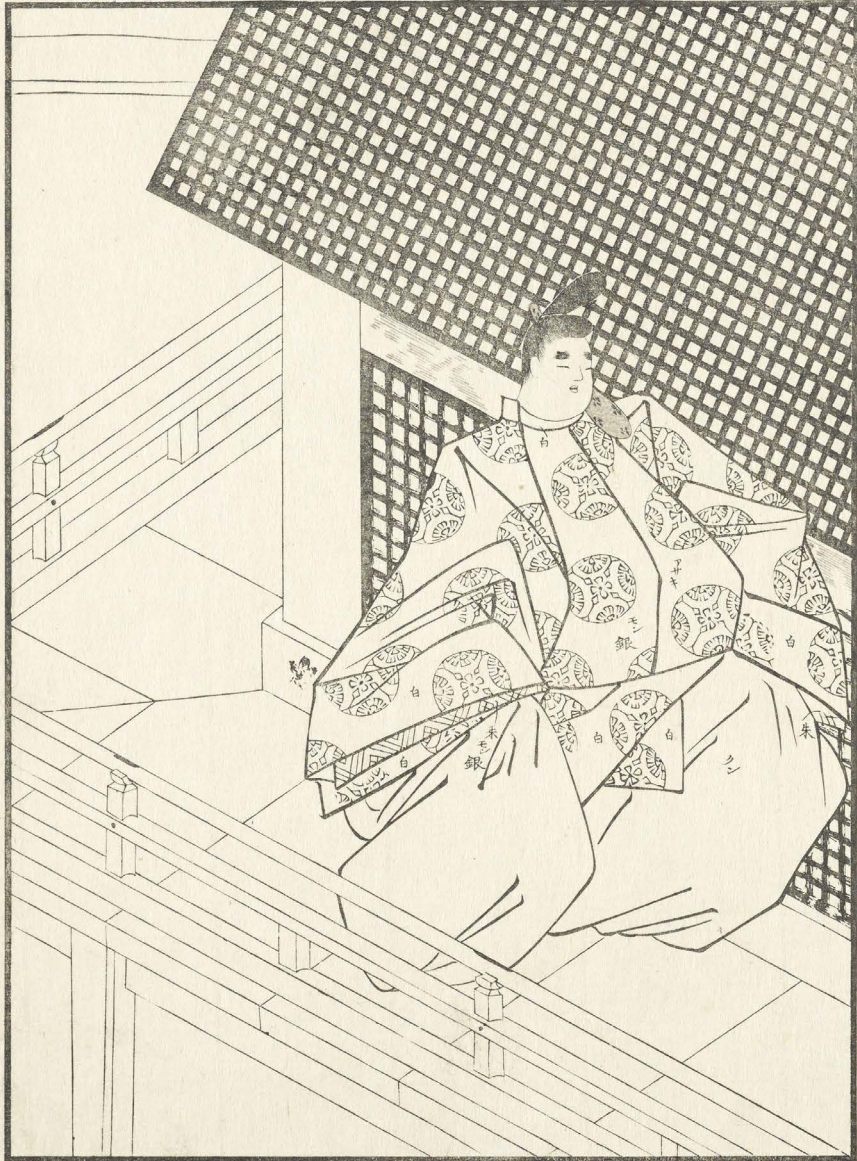
壬子帙

從五位下行土佐守源朝臣忠央輯刻

紫式部日記画卷



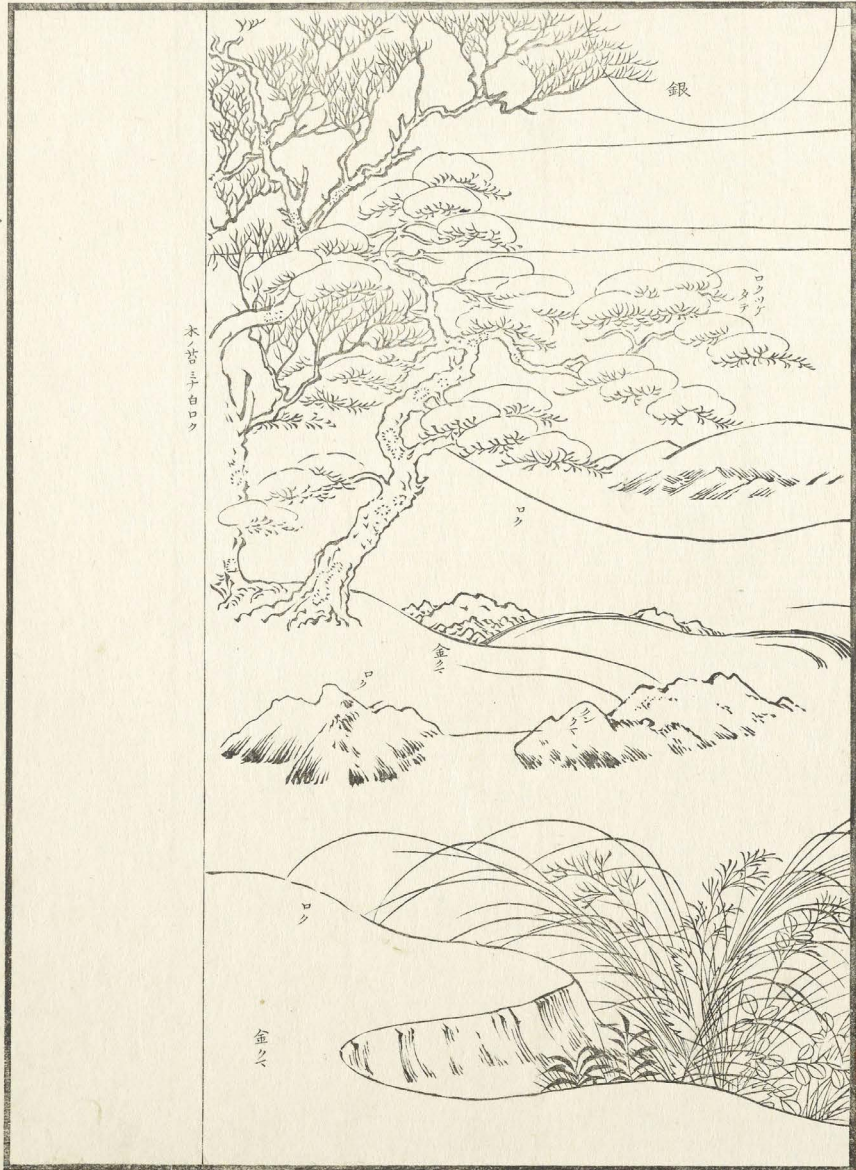
丹鶴叢書



飯田利



坂

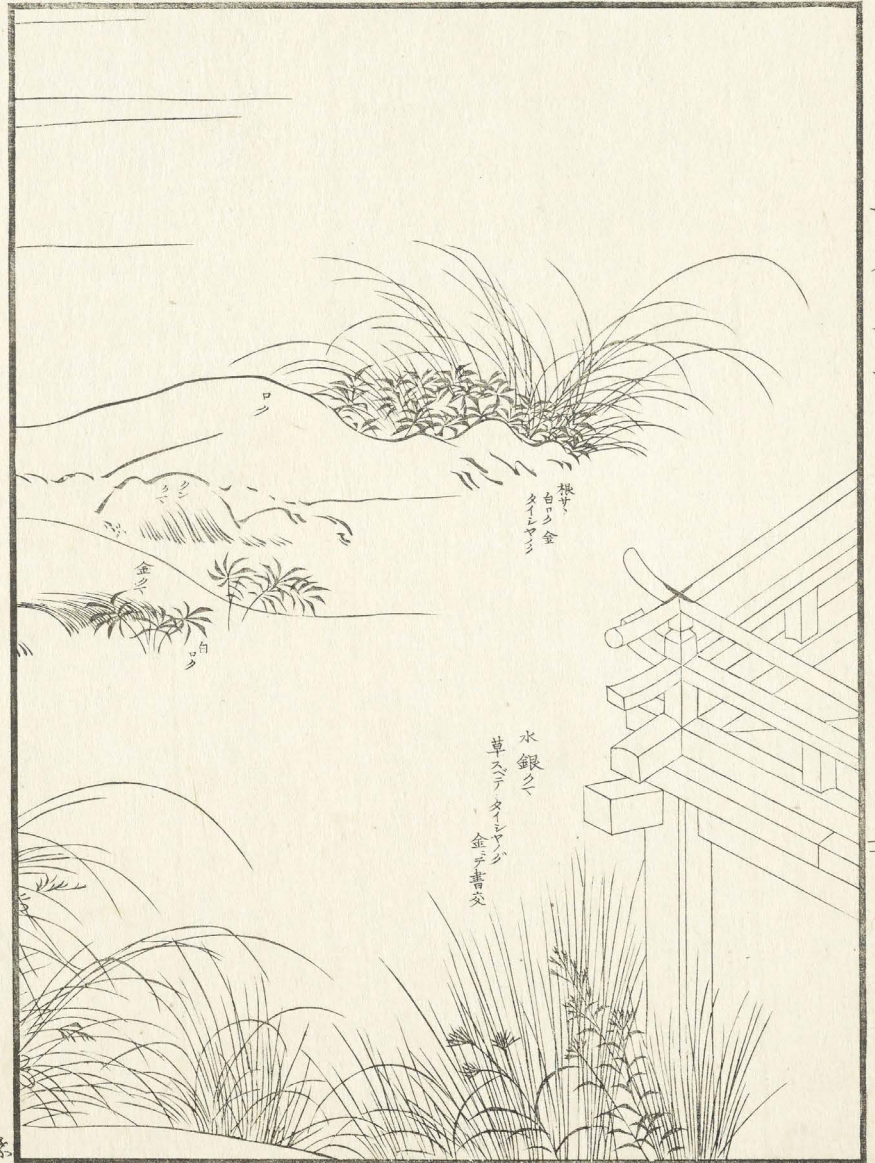


水ノ音ミ子白ロク

銀

金々々

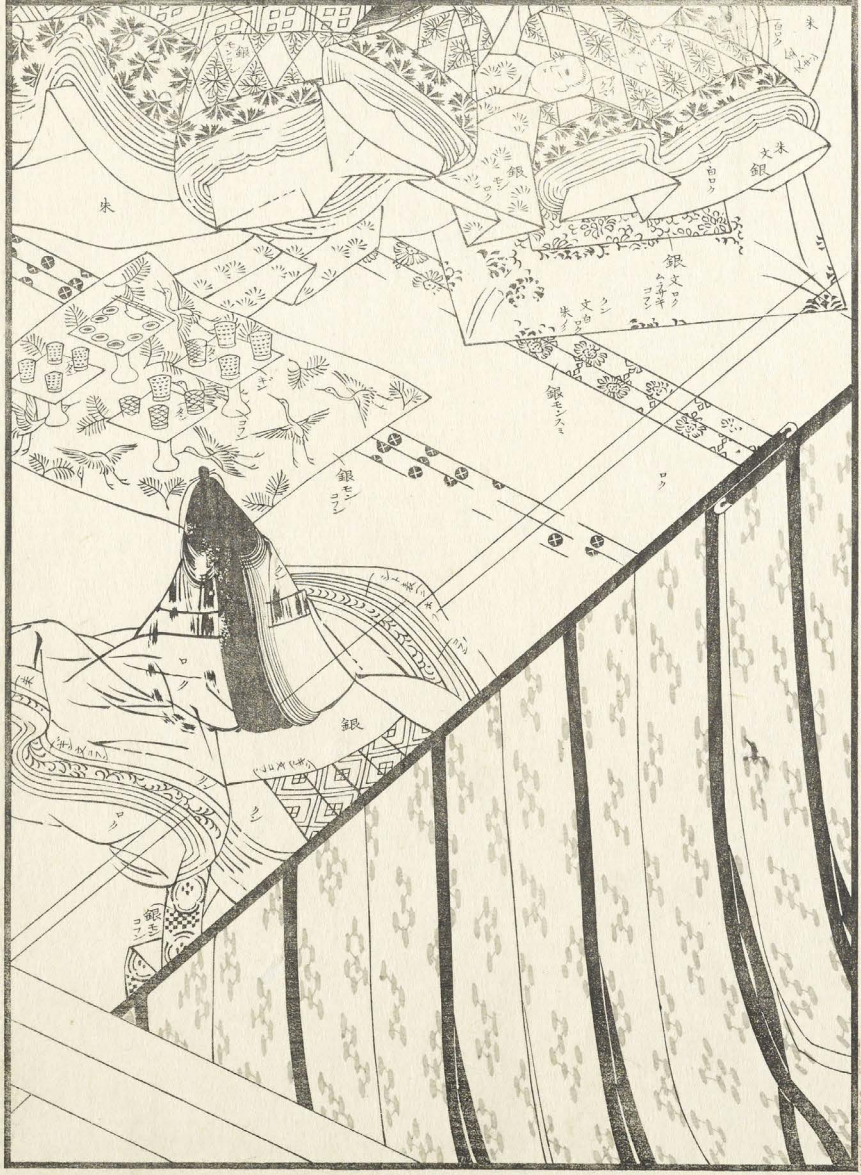
飯田刻



根サ
白々金
タレヤシ

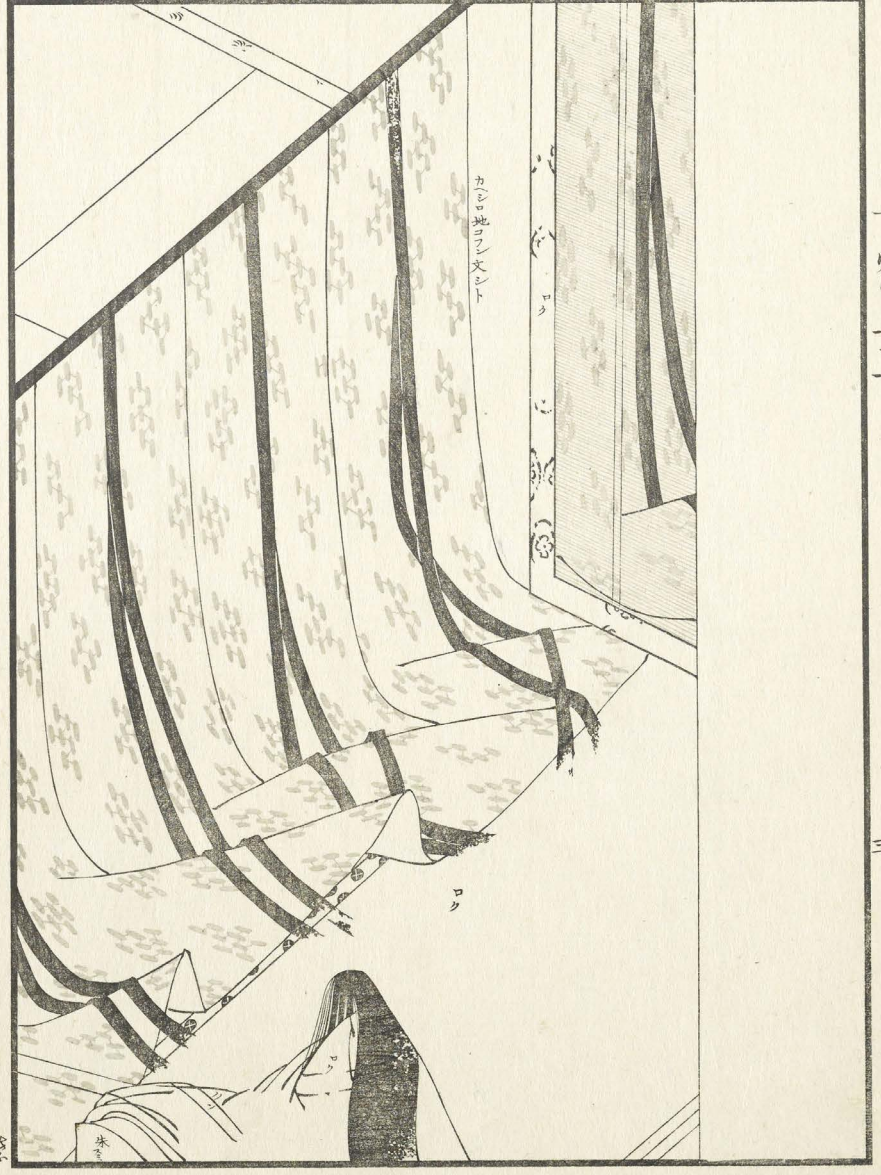
水銀々
草スレ
タレヤシ
金々書交

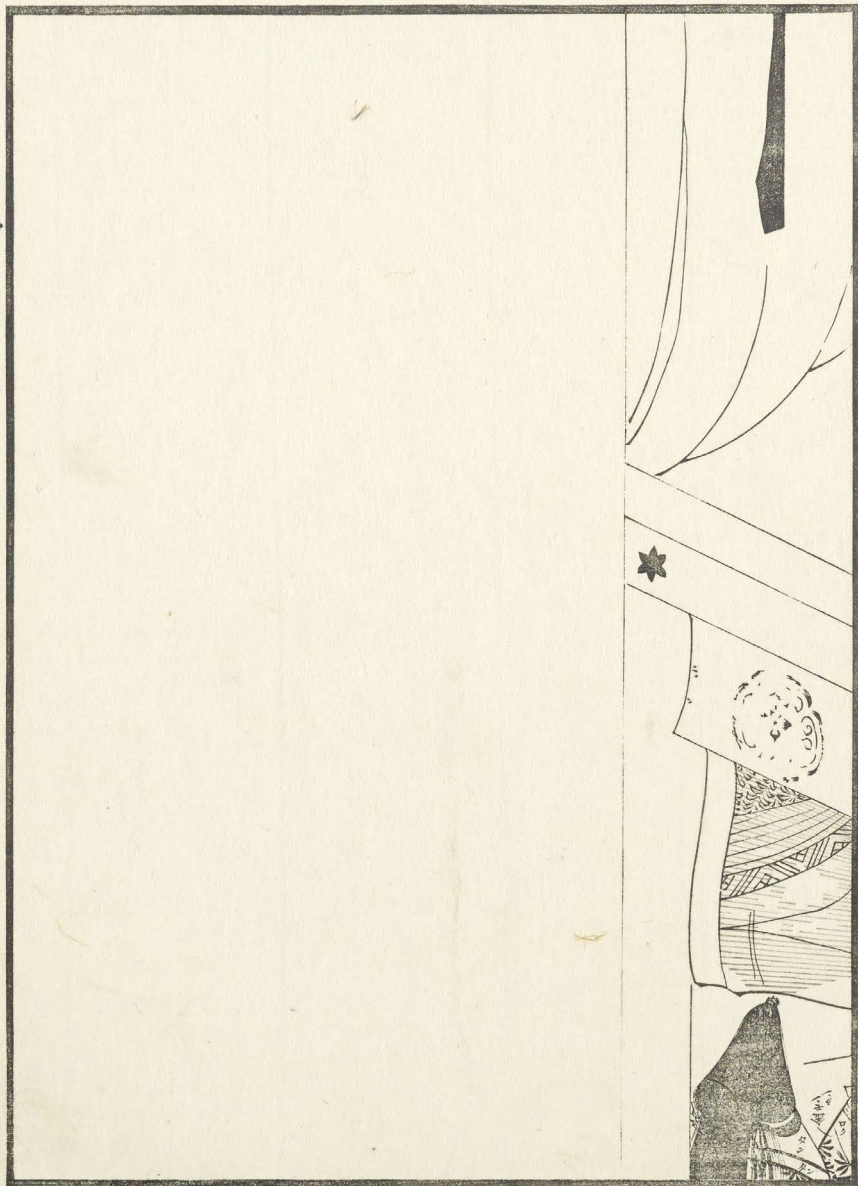
水



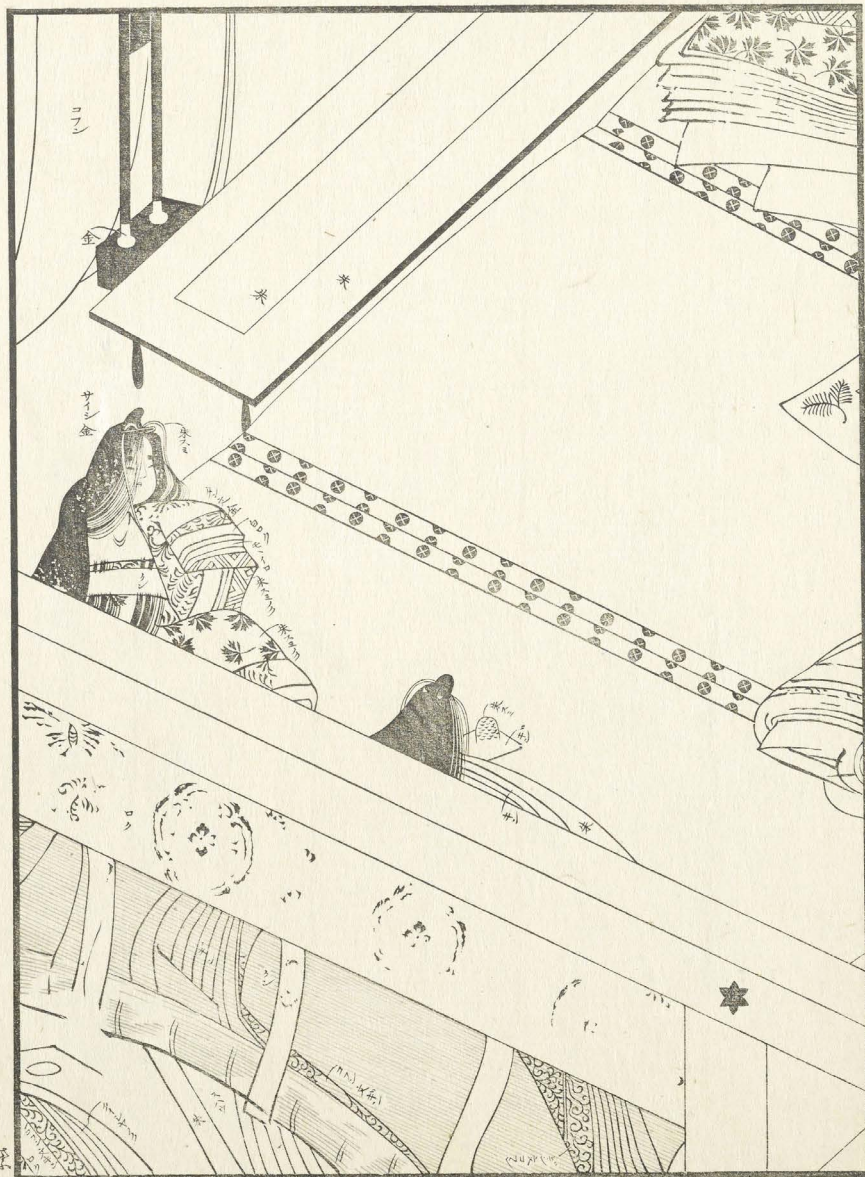
飯田別

朱
 銀
 文





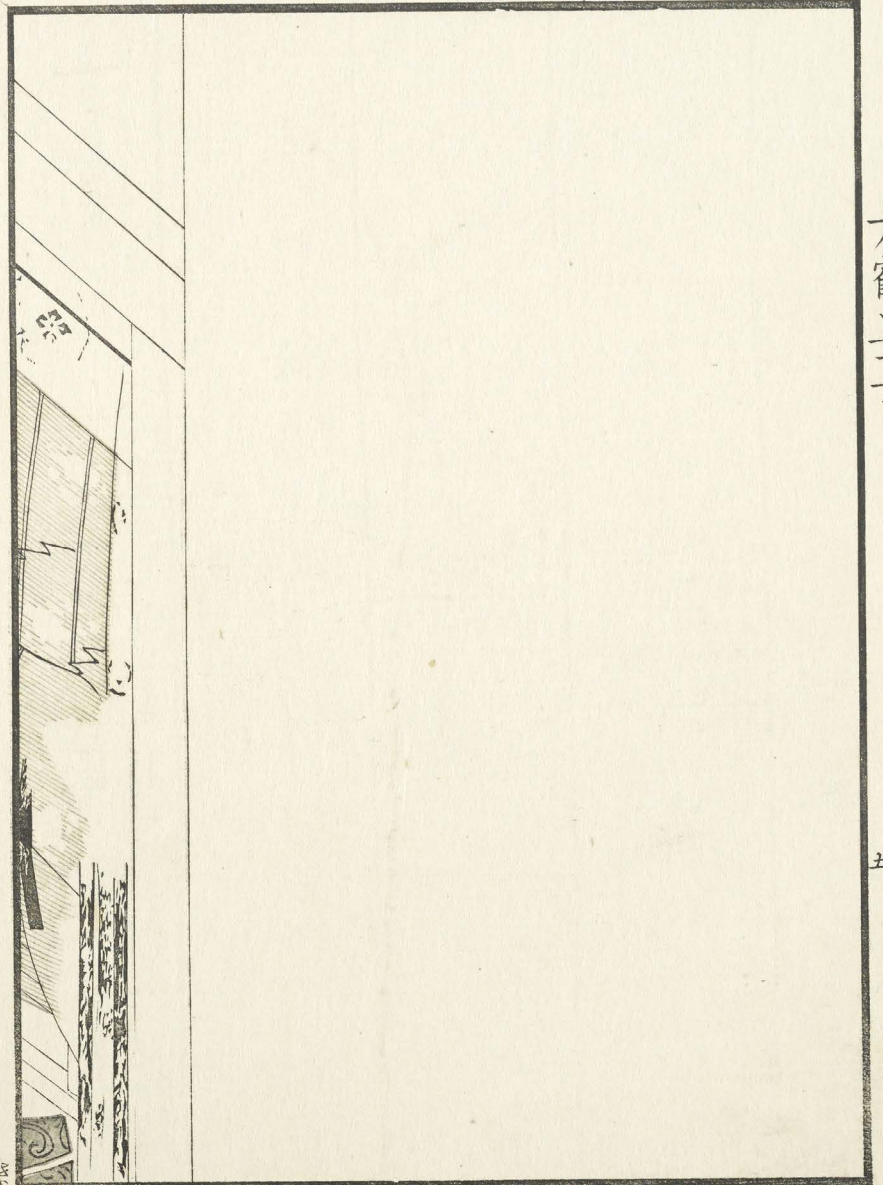
由篤尚堂 龍

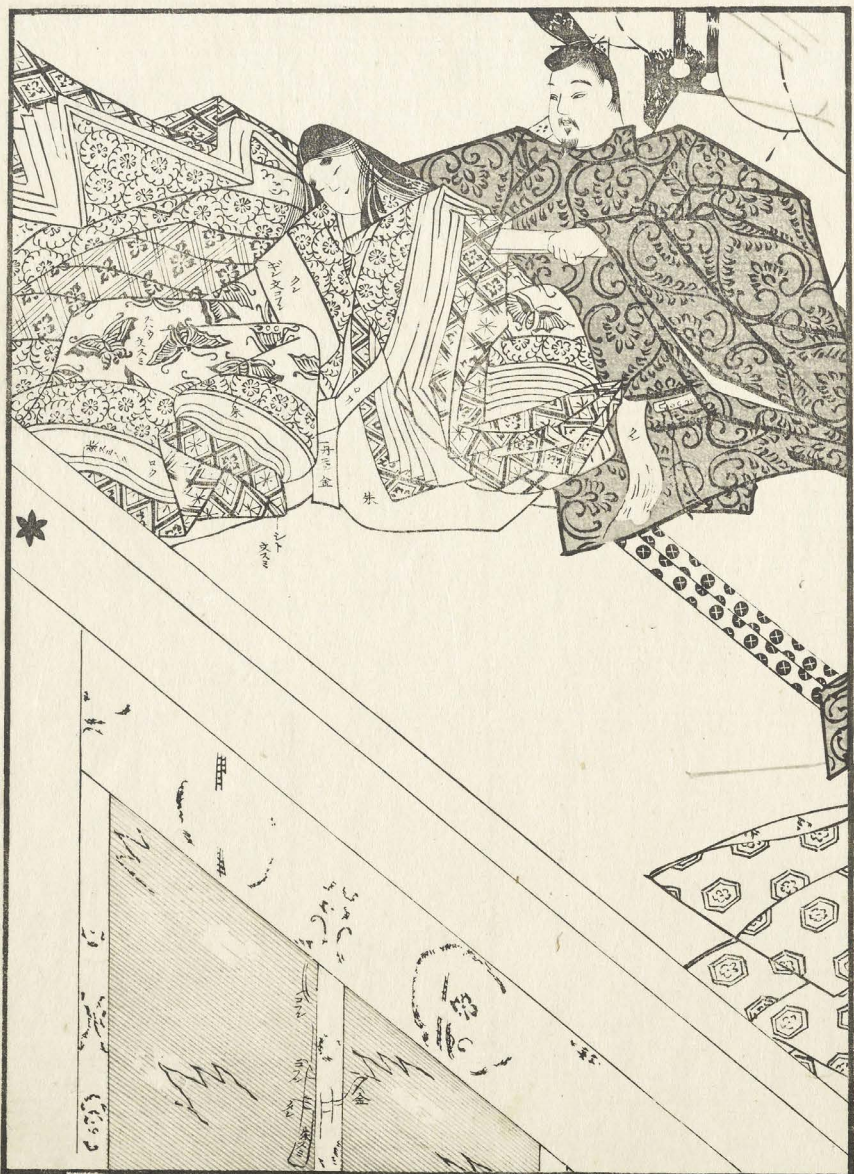


年



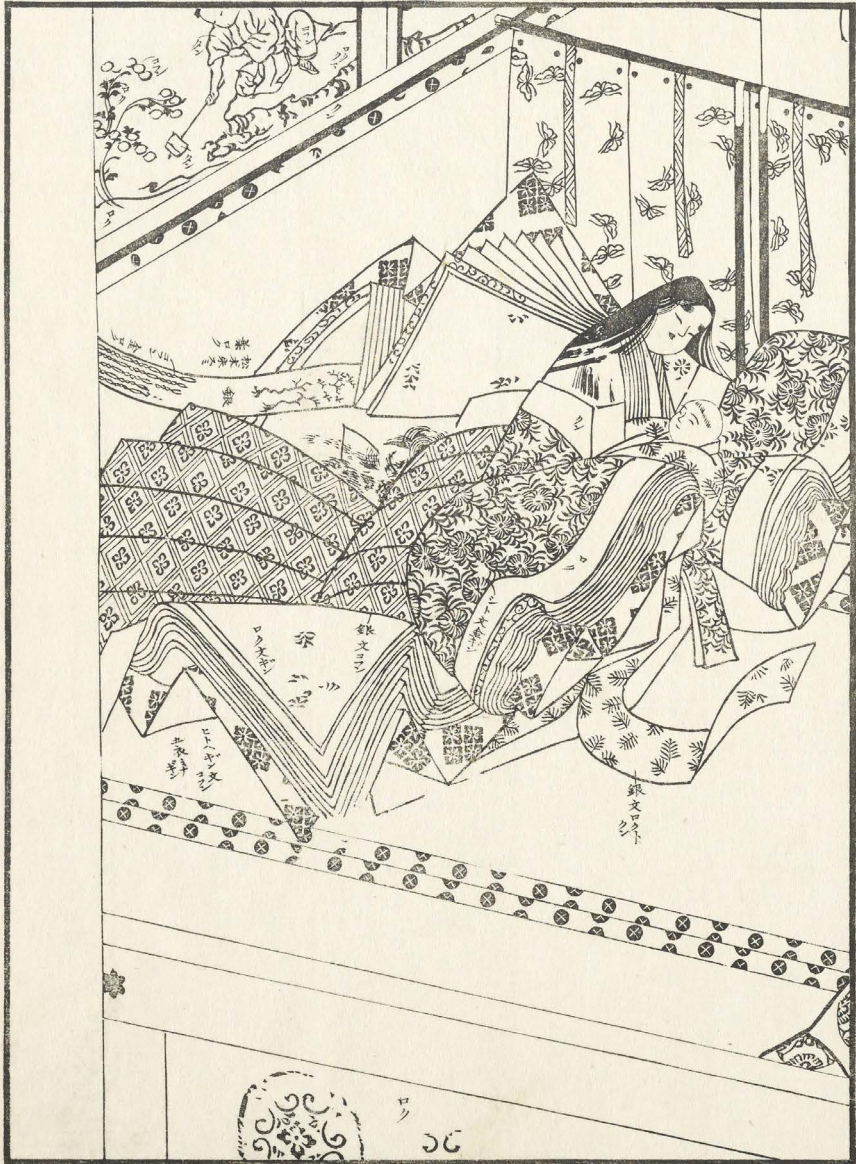
中篤尚堂





中
篤
尚
堂
藏





中 篤尚堂

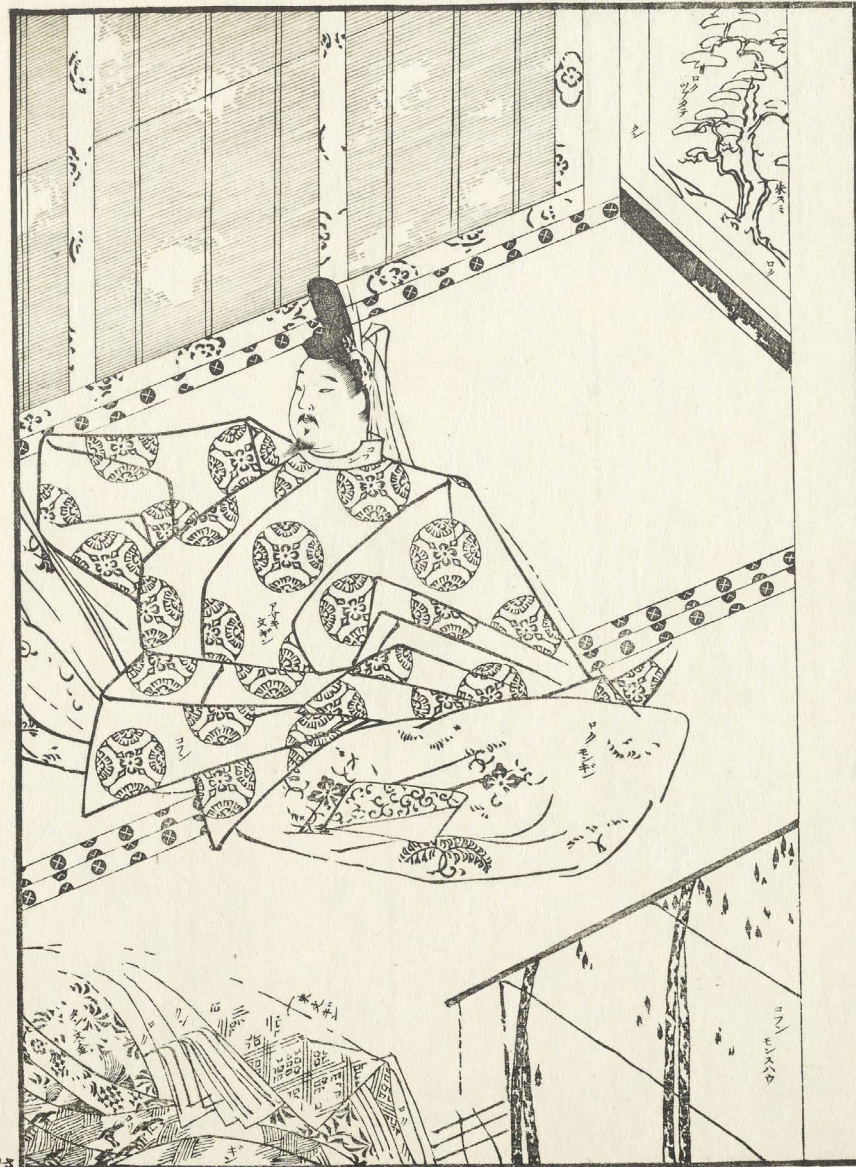


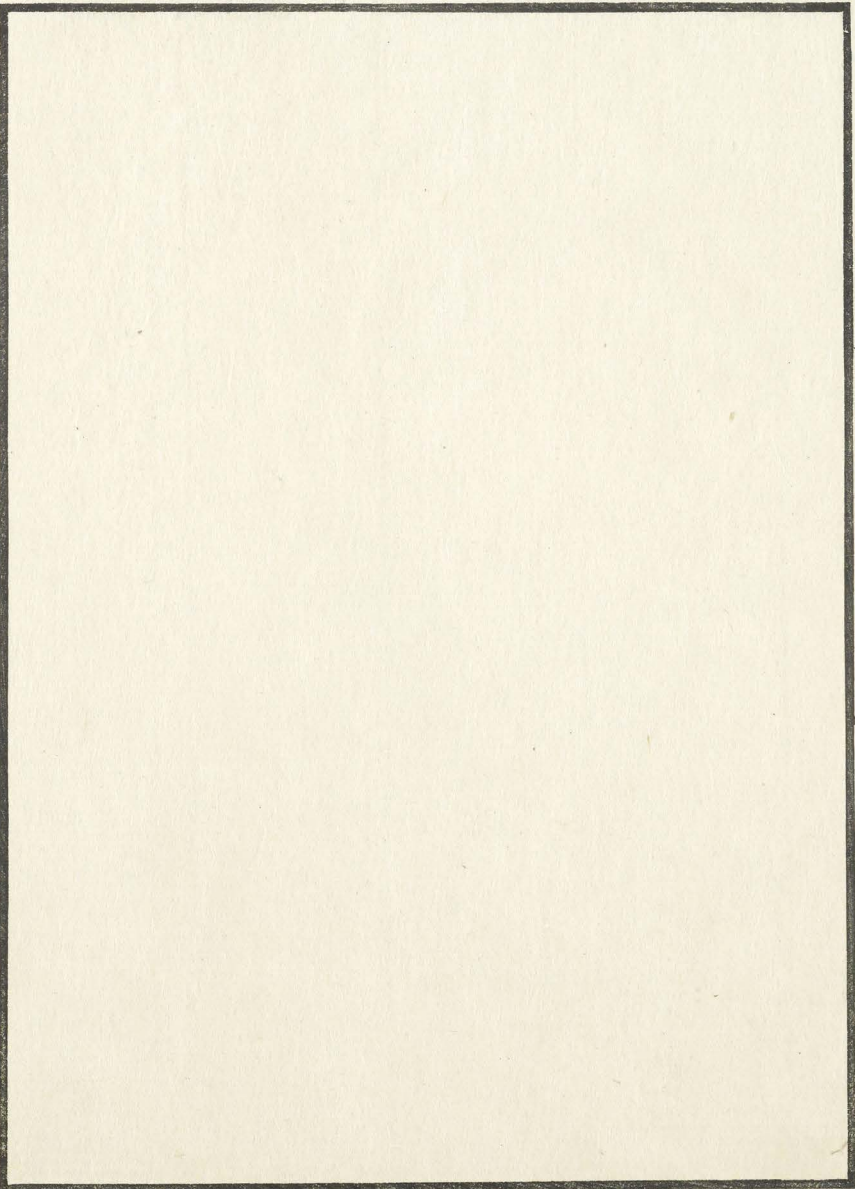
七

已上詞飲



中篤尚堂



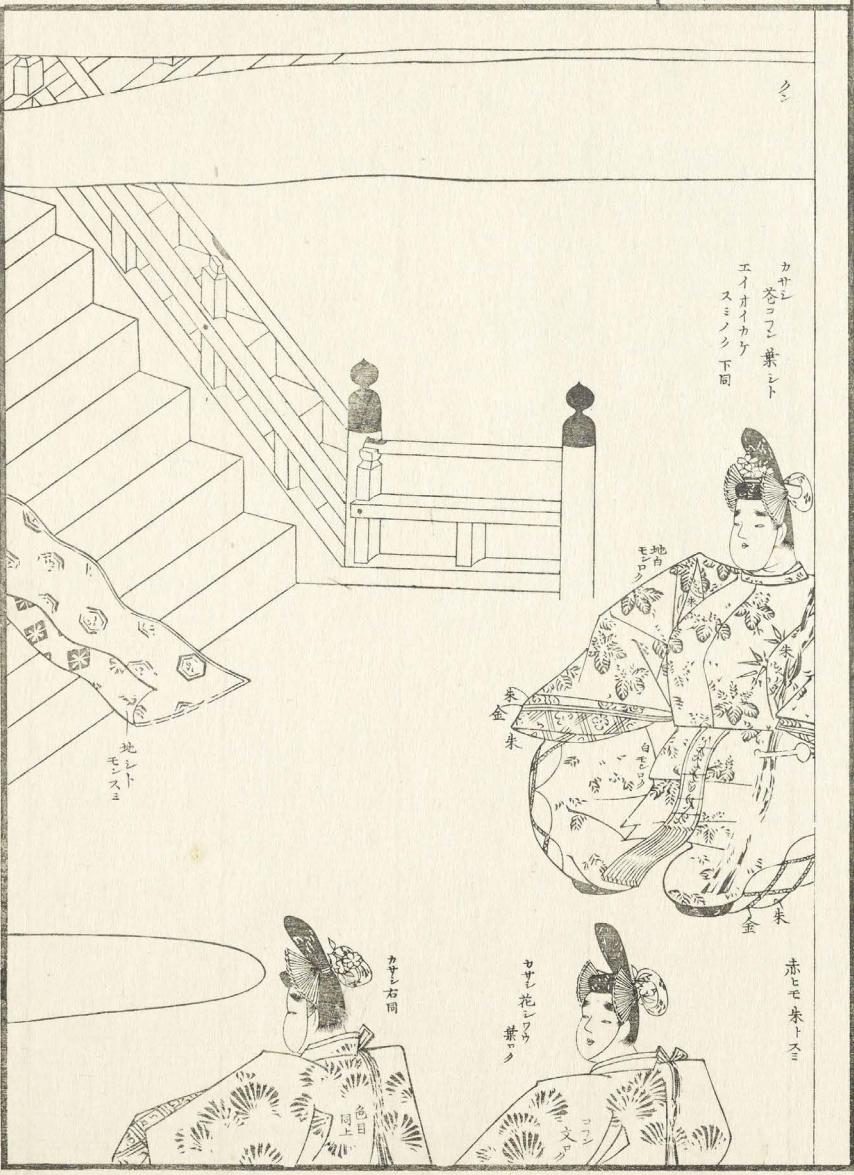
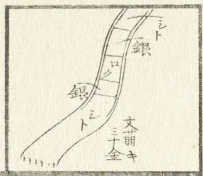


飯田刻

つむしへのさかひつゝのいふにわらぬ
ちるる日よ御ものいふは終る殿御のいせ
も終るさかひのいふもたはりのいふも
よよのいふもたはりのいふもたはりの
いふもたはりのいふもたはりのいふも
いふもたはりのいふもたはりのいふも
いふもたはりのいふもたはりのいふも
いふもたはりのいふもたはりのいふも
いふもたはりのいふもたはりのいふも

Handwritten text in a cursive style, likely a chapter title or introductory text, enclosed in a rectangular frame.

58



カサレ
谷コノ葉レト
エイガイカケ
スミノク 下同

地台

地レト
モンスミ

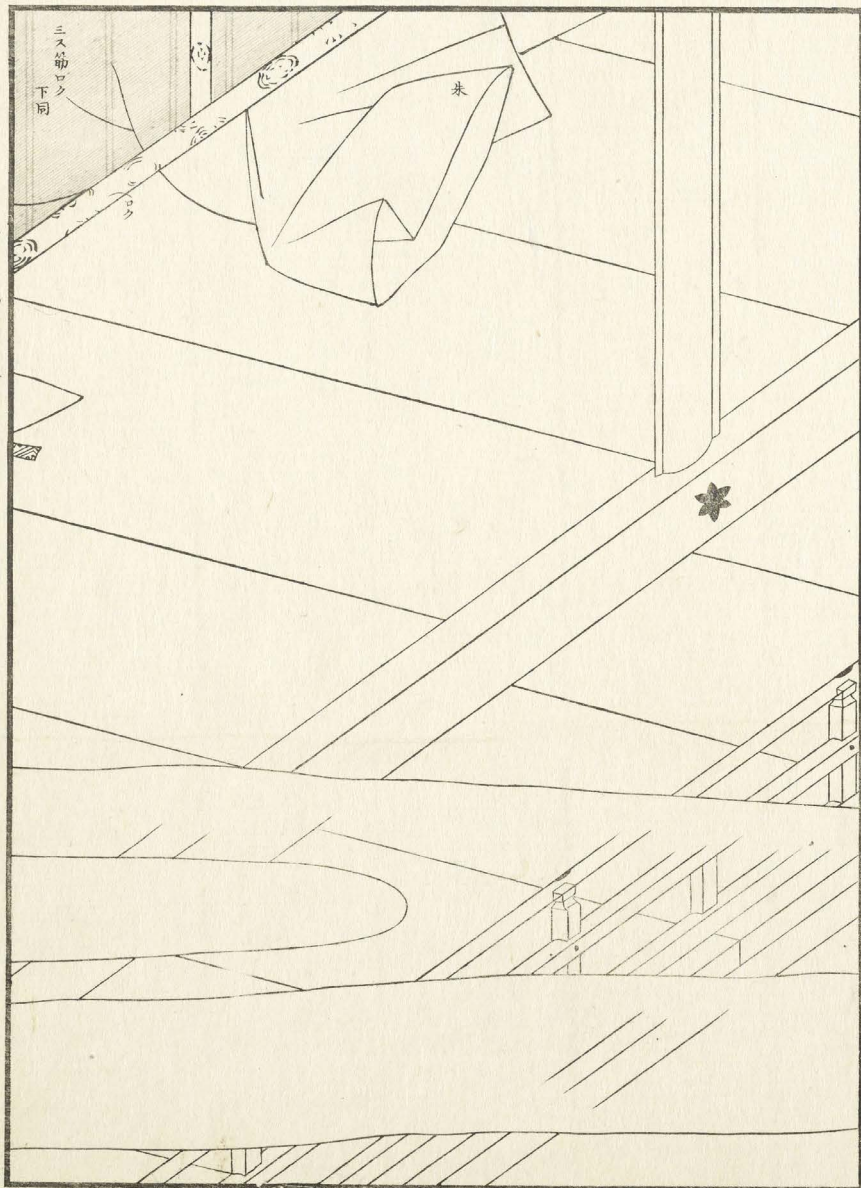
カサレ石同

カサレ花レワ
葉コノ

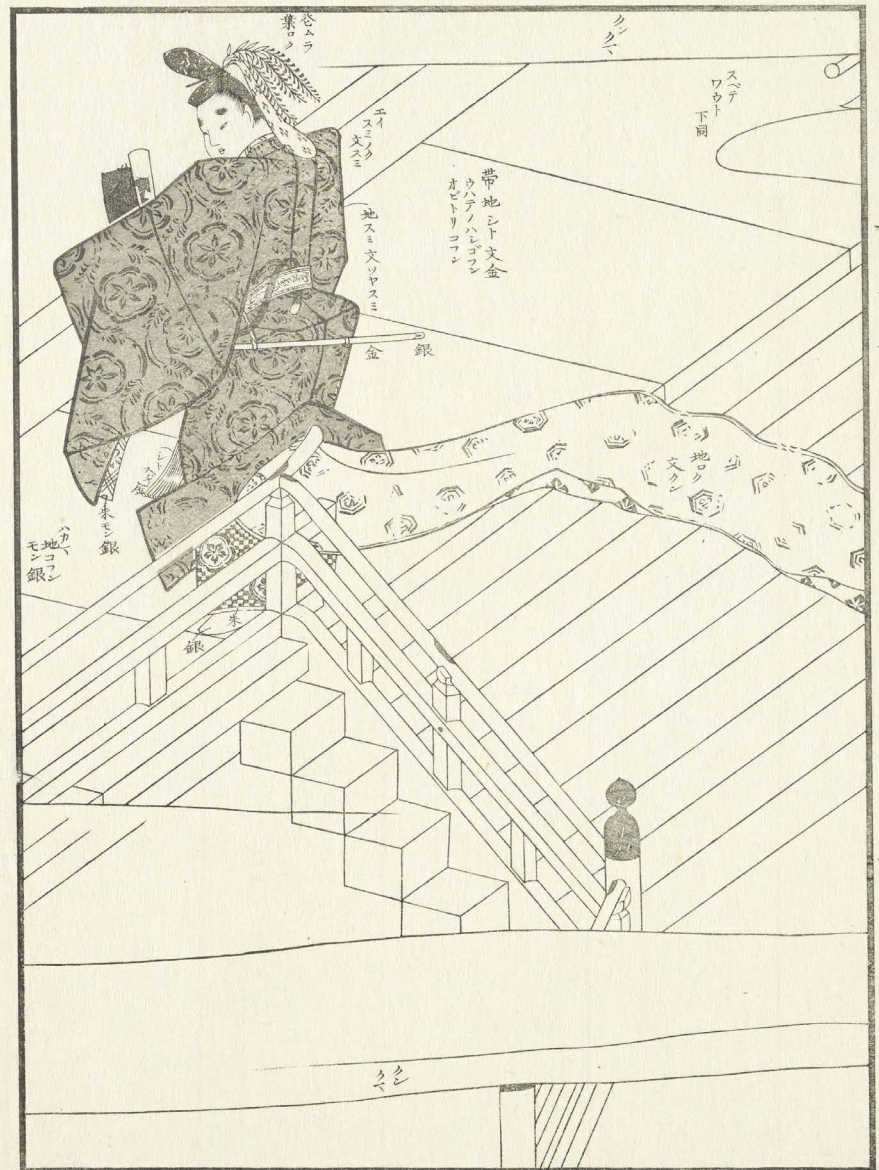
赤モモ朱トミ

飯田刻

丹鳥叢書



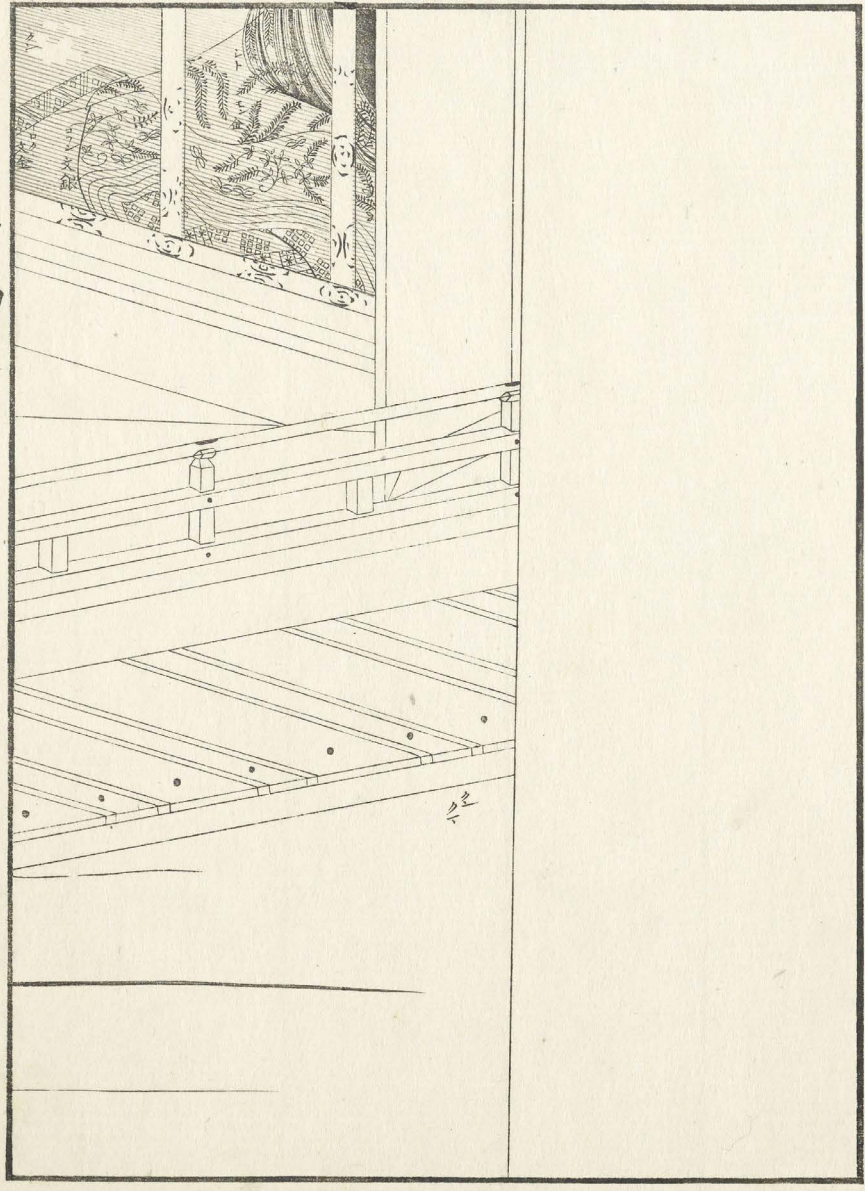
飯田刻

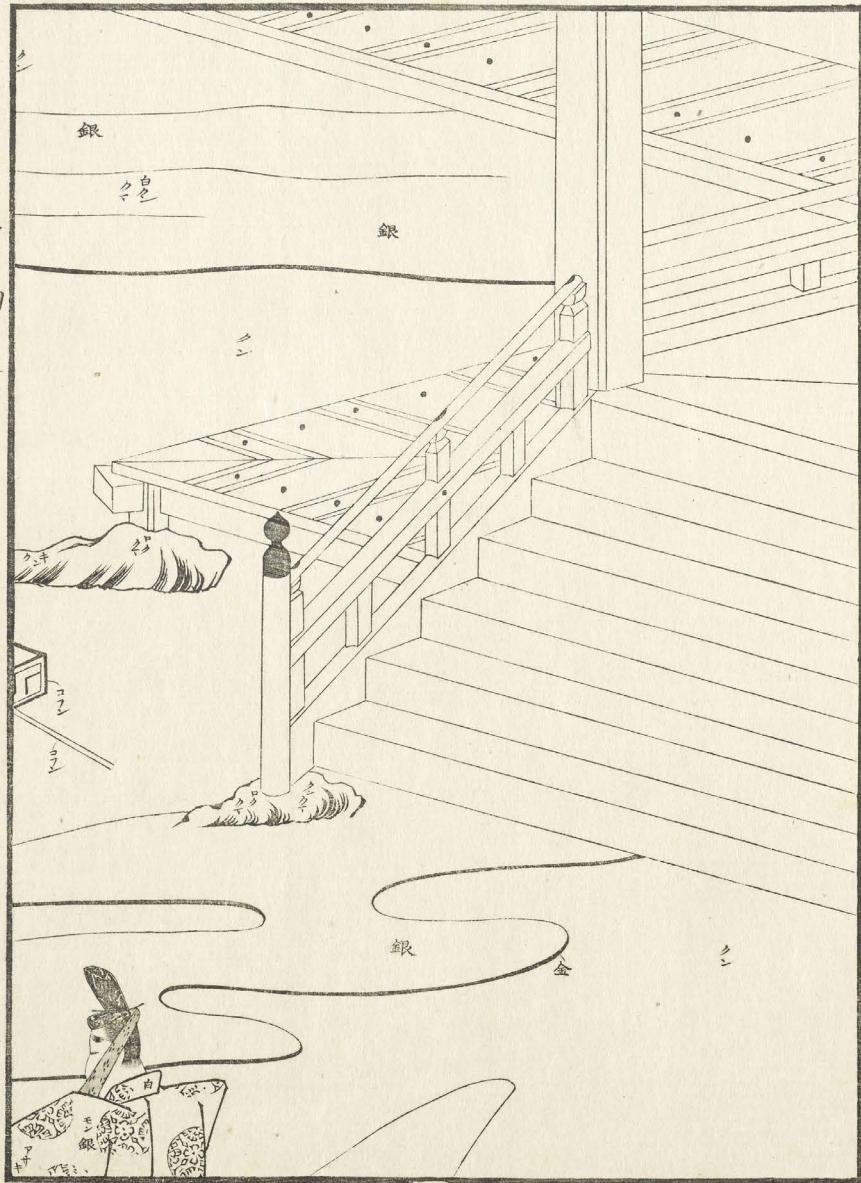


丹窩叢書
 丹窩叢書
 丹窩叢書
 丹窩叢書

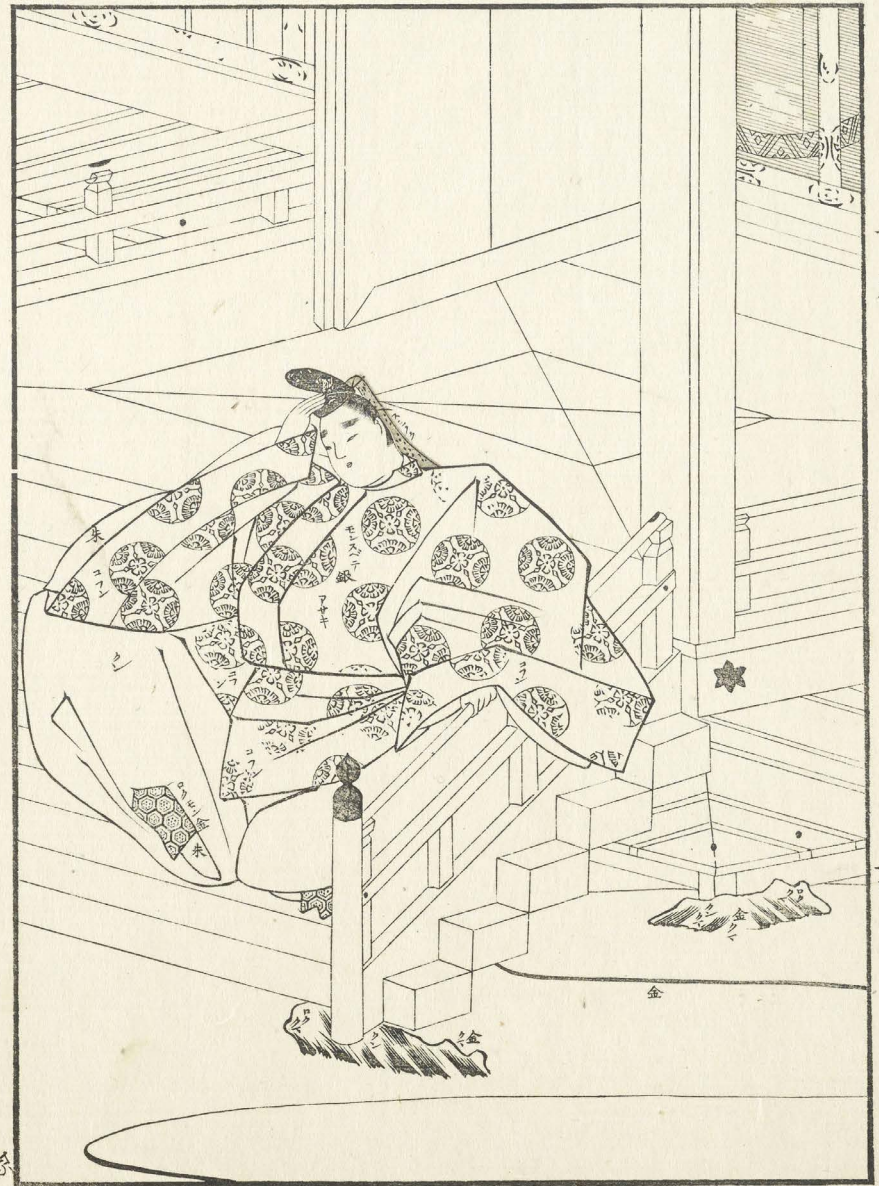
五

中篤尚堂
 安

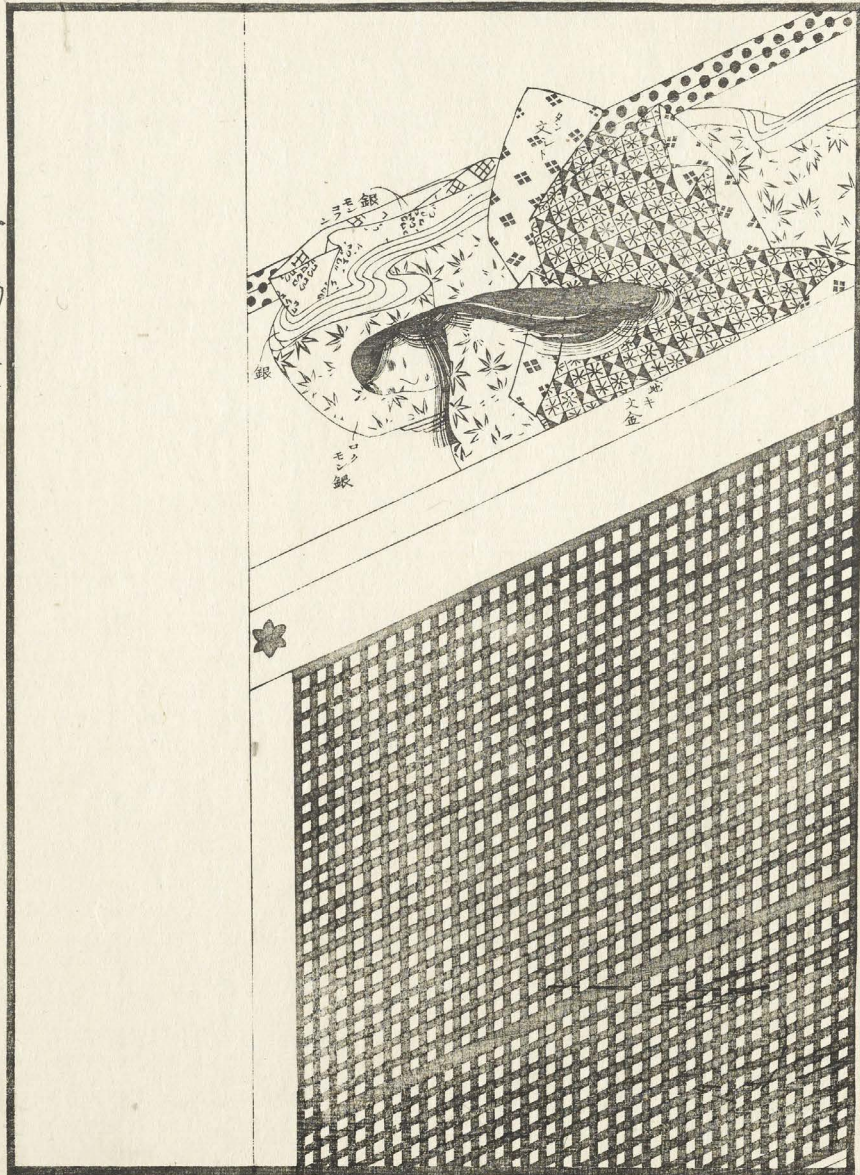




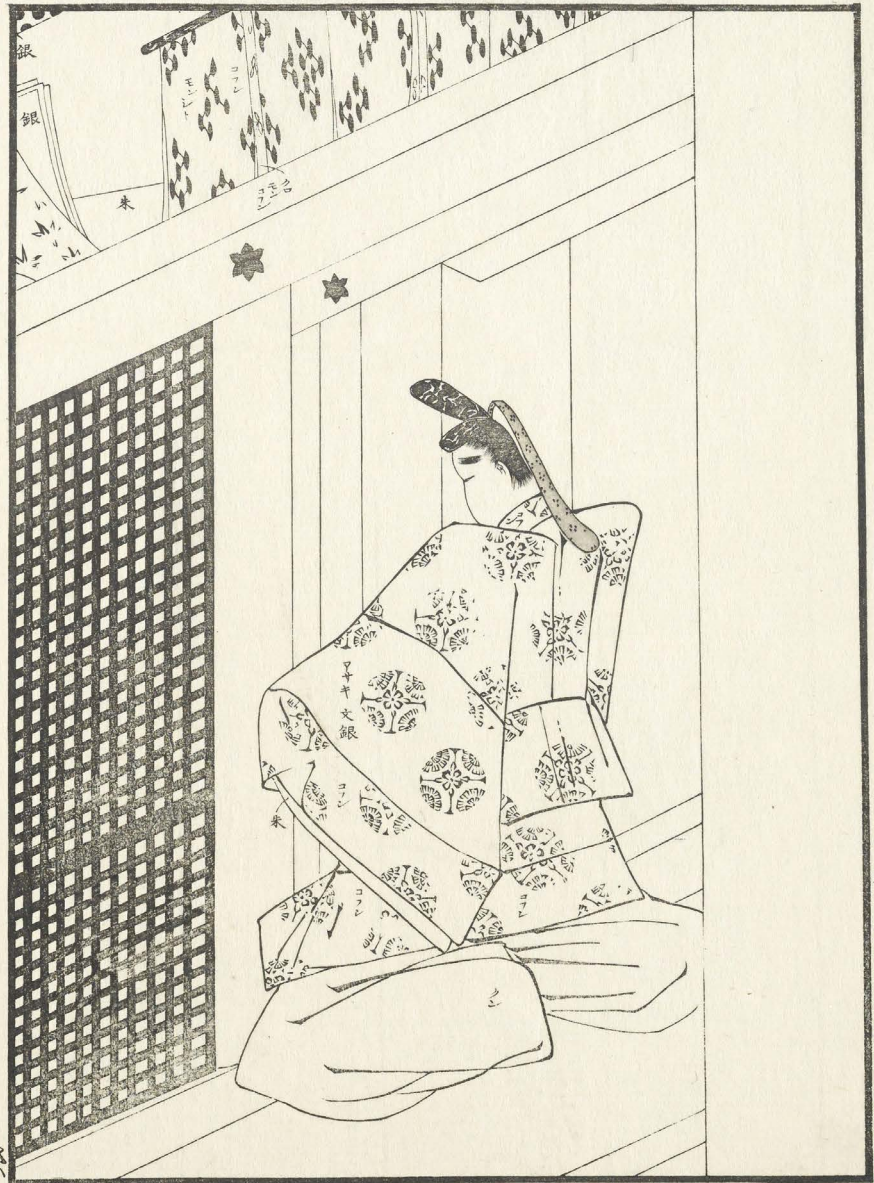
中篤尚堂



十



申篤尚堂安



子

二宮の御いそひ正月十五日うのあつの
 みるよふかおなりいみあふそと
 おいにいよあを縁くも例のたな
 あしやれしあなをさくよあにせ
 あはすますむむむむむむむむむ
 うあをいそそあち殿うわらせ
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 ーあふいあふいあふいあふいあ

32

飯田列

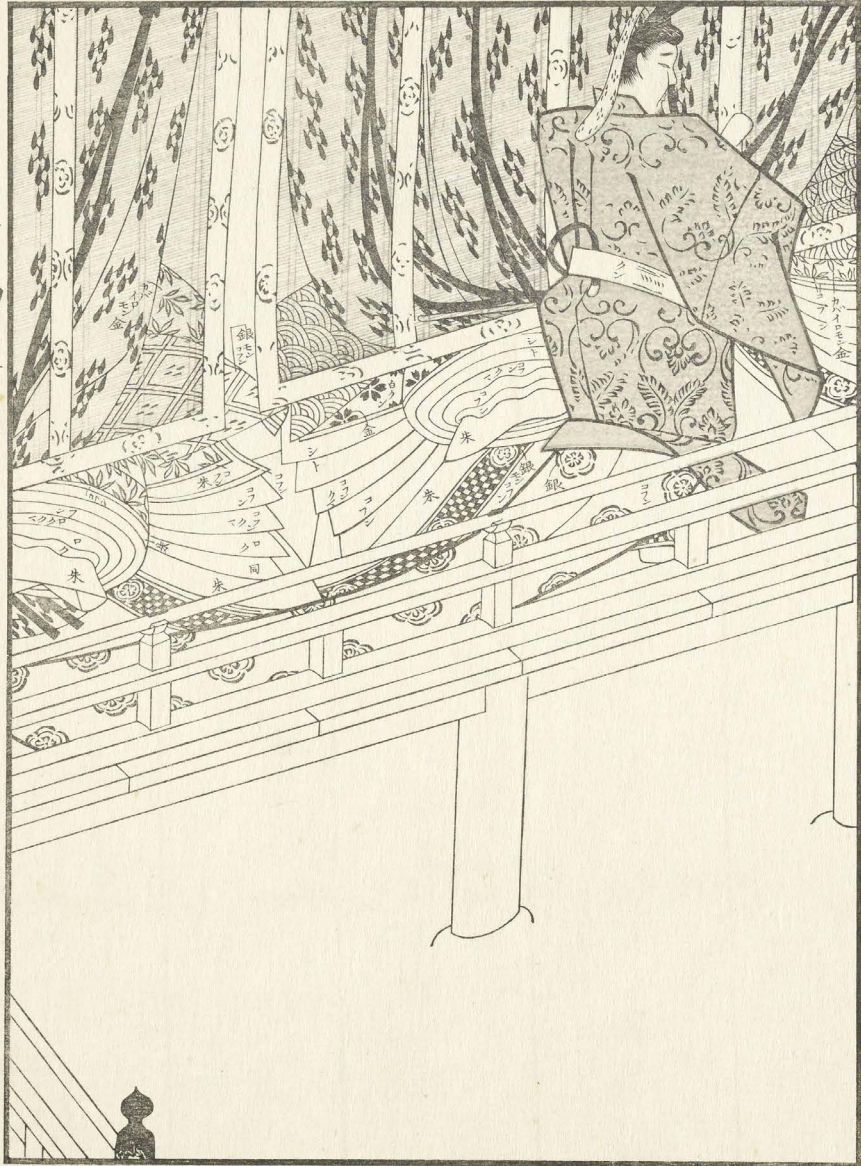
ねむあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ
 らるるるるるるるるるるるるる
 ーあふいあふいあふいあふいあ

Handwritten text in a cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical lines of characters.

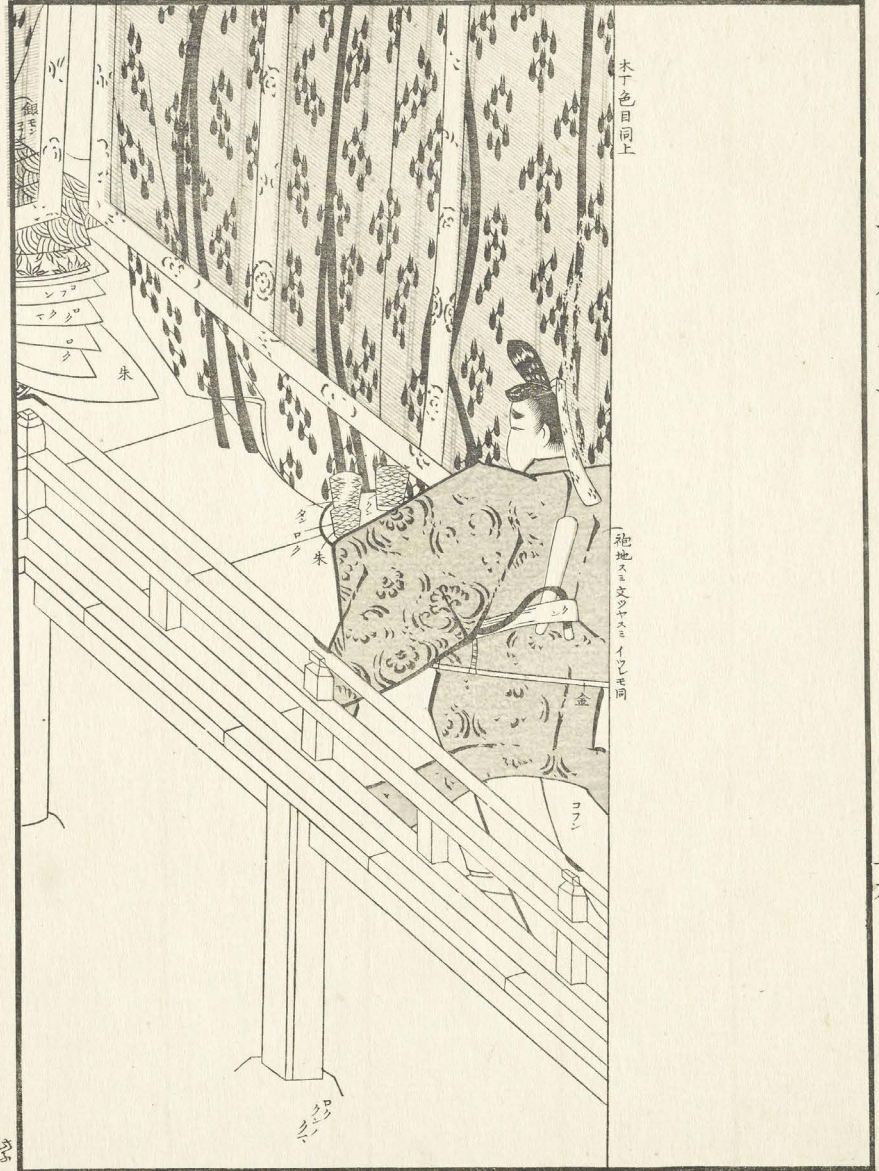
528

蔵田別

Handwritten text in a cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical lines of characters.

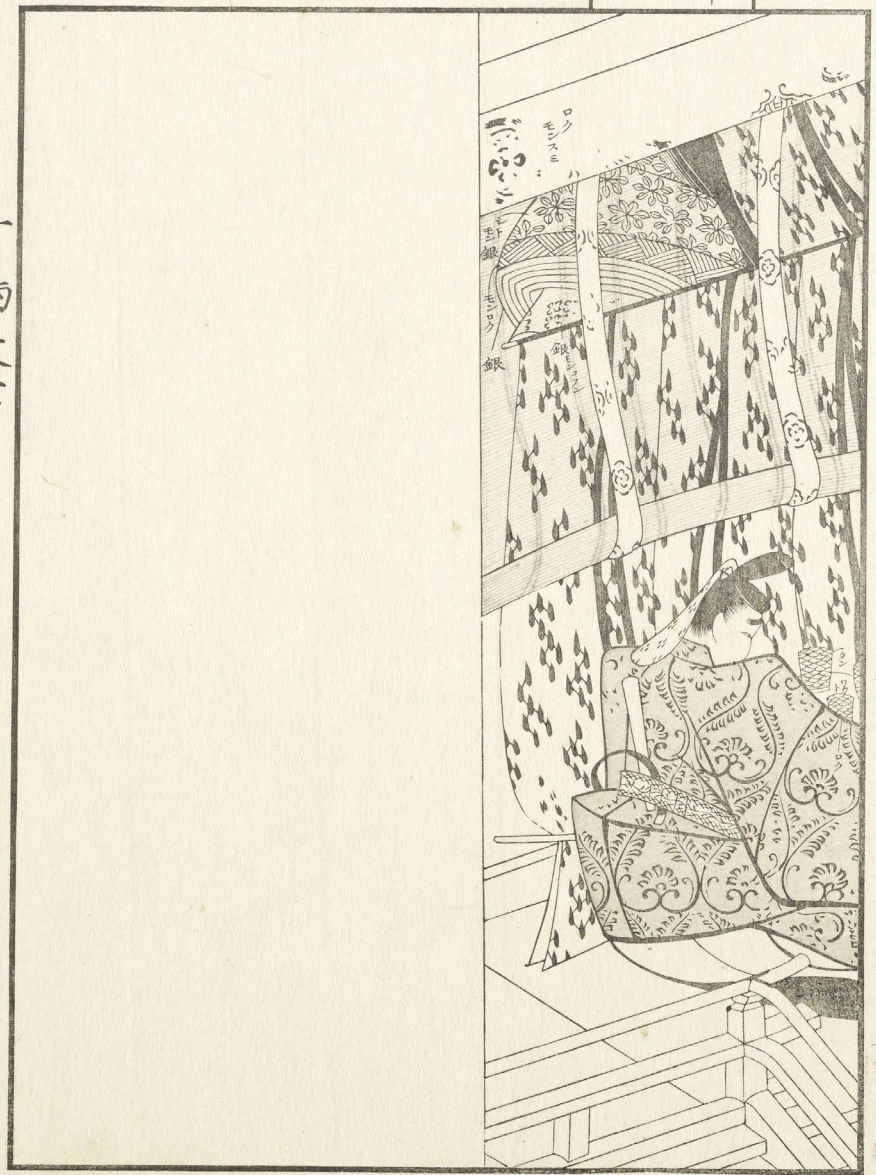
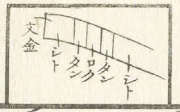


飯田刻



木丁色目同上

袖地スミ文ツヤミイロセ同



飯田



廿

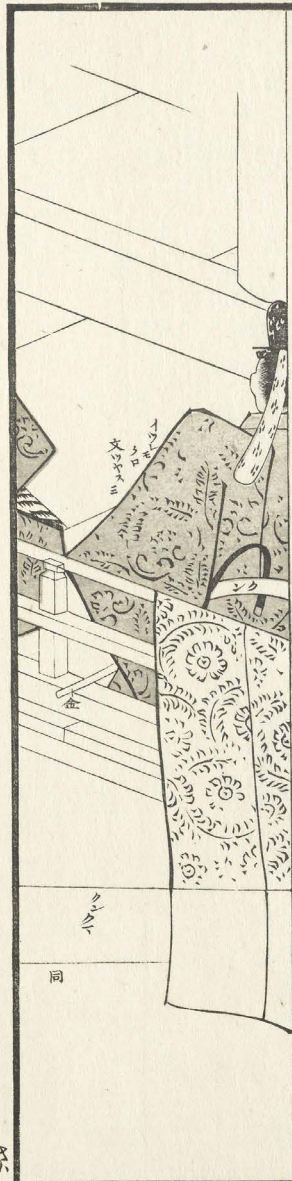
ひさしのきりもあはれなむの女侍も御姥
乃ち一ねもていのねまゝおれゝも縁もきりふ
てあまもあはれ三位をさへもて内侍のちんちん
もあまもあはれあまのひさのあまのあまの
一のあまのひさのあまのあまのあまのあまの
ちんちんあまのあまのあまのあまのあまの
ひさのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの

あま

申篤尚堂 龍

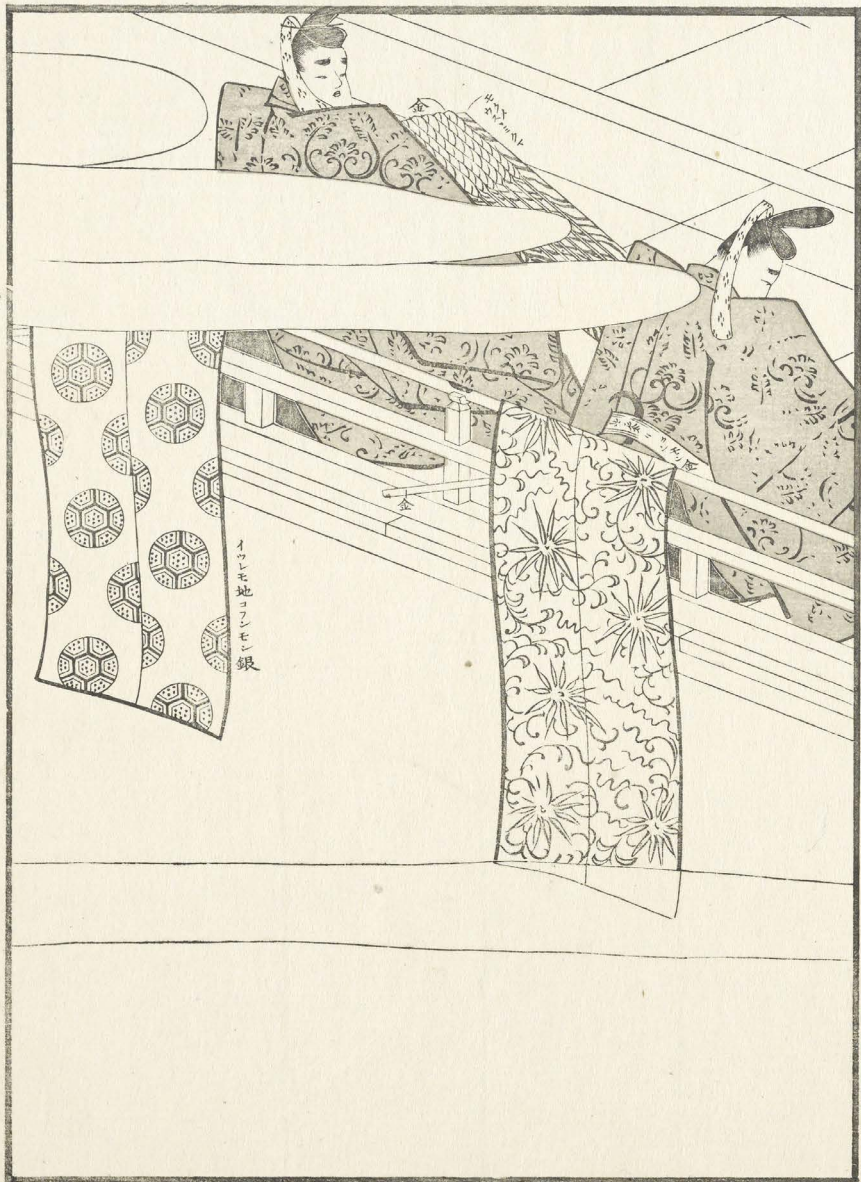
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの
あまのあまのあまのあまのあまのあまの

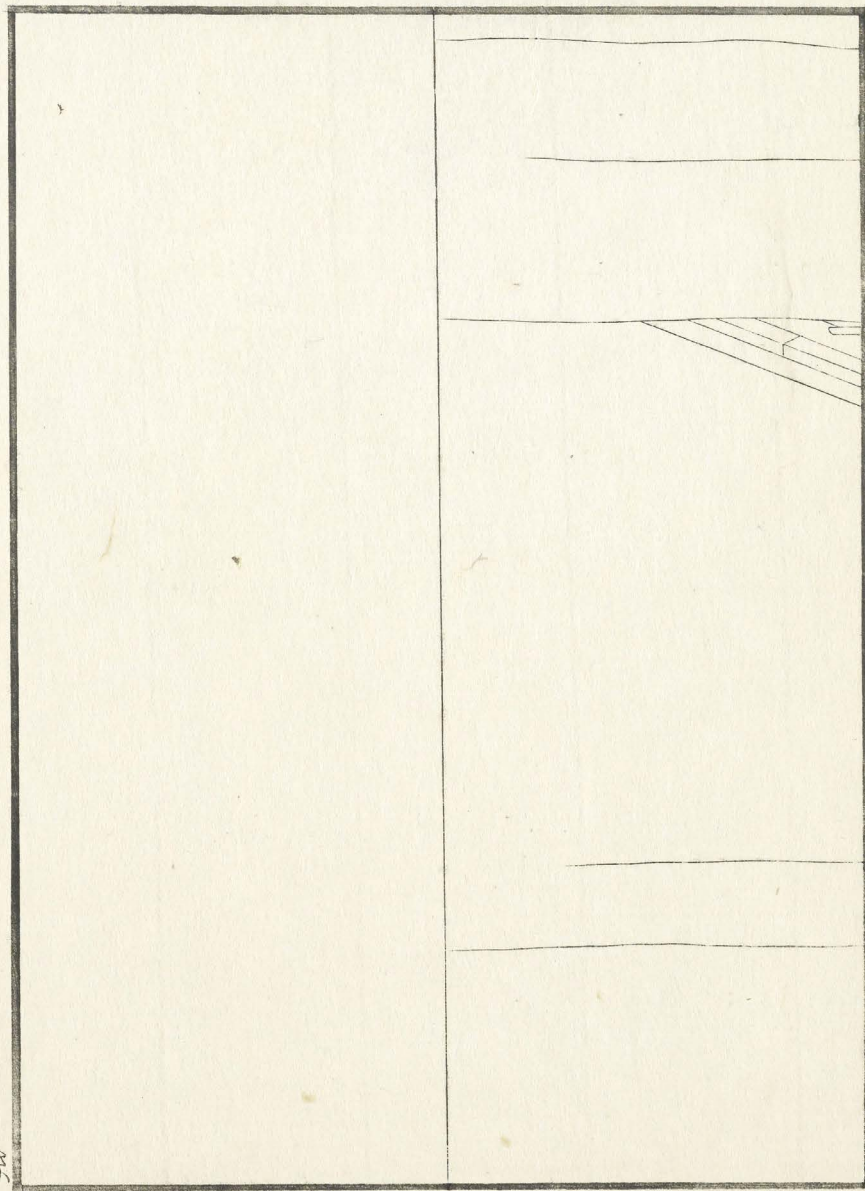
右のねとわしといはれし一
 後さ終始ありし一
 いふかゝるはるるの
 御ねとわしはるる
 ちしち



三

中 篤尚堂 龍





丹
雀
書

廿
四
止

廿

一本當郡甚異
文也

丹鶴叢書 壬子帙

從五位下行土佐守源朝臣忠央輯刻

日本總國風土記第七十七

牟差國 或作武藏
武刺

荏原郡 永原系
或永原系 緣原 或永原系

永原 此二字緣原ノ下ニアル也

浦 二ヶ所 湊 一ヶ所 岡 三ヶ所 河 二流 池ニ分ル系

泉 一ヶ所 一ヶ所 官祠 五ヶ所 寺院 四宇 墳墓 一基

關 一ヶ所 一ヶ所

荏原郡 西限 金洲 崎東 限常盤木森 或限 大戸 湊

中篤尚堂

丹鶴叢書

南限後渡世川北限後依也岡貢竹梅挑櫻野老粟柿
葡萄酒大根柴胡黄芩葎丹黍桔梗知母芍藥
烏頭鶴鳩鴨鷺鳩鷓鮮女魚之類石决明鮎名苔之
類又制武器之具献官之武庫

荏原エハラ 公穀 三百六十二束 字田

假粟 二百三十九五字田貢粟葡萄酒

大根紫野老又有鶴鳩之類類

甲飾神社 圭田 三十六束六毛田

所祭經津主神也

天智天皇三年三月甲子始行神礼

凡土武

中篤尚堂谷

荏原河 貢鮎鮠及雜魚二本

近村之旱使利如河水其水落結城河

郊倉寺 寄田 四十五束九本四字田

文武天皇大寶三年戊戌滿快法師安觀音尊像

行救世行也

蒲田カハタ 公穀 四百八十六束八字田

假粟 三百十九九本丸

貢梅竹櫻挑黄芩芍藥鶴鳩鷓鷃鹿猪狐兔之類

虫喰不見

稗田神社 圭田 六十二束三本

丹波書

所祭園韓神ソノカミ少彦名命也ミコトナリ依雄畧天皇十一年之

勅而始行神礼ミコトナリ有神家巫戸ミコトナリ祈病災莫不驗祈田

毛莫不實

益師池ヤシ有鄉之南貢鯉鮒水旱水不增減セズヘイフ傳言役

小角入府之池也府致

田本郷 公穀

出喰不見

盤井神社 圭田 三十六束三字田

敏達天皇二年癸巳八月所祭大己貴命也オホナムチノミコト社邊

有盤井祈夏土俗有妄願則其御手洗井水變塩

味夏正直則如清水近國奇之祈病者取之服之凡土武



其功驗如神土俗曰藥師水

櫻田 公穀 五百六十三束 假粟 四百二十

五丸

貢紫草香薷及褐捺衣及緩布調布等又貢武器

号櫻田開櫻之時取田苗故有此名

石田神社 圭田三十二束

所祭應神天皇也和銅元年始行祭礼出食本

霞関カスミンセキ日本武尊東夷征討之時蝦夷之儲闈也雨

来連綿而本太被置之奉國之勝景而笑其遠眺隔霞

雲故有霞闈之号

右風土記殘冊之内武藏國荏原郡之餘卷以閑院大臣之藏本写之以官本遂校合畢

嘉慶二年乙丑四月上旬

尤羽林次将藤原元隆写之

凡土武

日本惣國風土記第七十九

武佐志 或武蔵

多磨郡 或玉

浦三岡 六ヶ所河 二流川 三流狐池 五澤 九祠官社

十一ヶ所寺 六宇墳陵 四基堤 三ヶ所

東限草窪岡 西限金川南限卒田浦北限向岡西

貢松竹梅挑薇蕨鴻雀鷹雀諸禽魚及狐兔狸鹿雀革

膽鞍靴之類

小川郷 公穀二百六十七東三毛田

假粟百三十九九二字田



丹室叢書

貢松挑^靴靴之類

小野神社 圭田五十六東三字田

所祭瀨織津比咩也

垂仁天皇三年甲子始行祭礼有神戶巫戶等

此間虫食

大麻止乃智天神 圭田六十七東六七田

所祭大己貴命也

安閑天皇乙卯年始奠宮社花時以花祭之新

稻之時以新稻祭之

爾布田或新田 公穀三百七十二東三字田

凡士武

中篤尚堂

假粟二百十三丸三字田

貢薇蕨諸草菜及禽魚等

爾布田川 出鮎鮎鮎等

穴沢天神 圭田三十六東三毛田

孝安天皇四年壬辰三月所祭火彦名神也

大輪寺 寄田三十五丸

舒明天皇六年己丑十月淨慶法師安藥師文

殊之两像

此間虫食不見

拍江郷 公穀二百九十三東三毛田

假粟百三十二丸

貢諸禽鱗又貢鞍馬之具及甲冑等亮所司月

別也

虎拍神社 圭田七十三束

所祭大歲御祖神也

崇峻天皇二年己酉八月始祭事有之

多摩川 出諸鱗及鷓鴣等又里人作調布納

内蔵寮

多摩大聖子 此下虫食

右風土記殘冊十七冊之内武蔵國多摩郡之餘

凡士武

中篤尚堂

卷惜哉脫而差誤等多之雖不聽後補以藤大納言高基卿之家本与官本校合畢

文和六年壬辰八月上旬

朝散大夫中原師行

右一卷者以舟橋吏部家本写之畢

寛永七年三月上旬

正四位上豊後守中原職忠 判在

日本惣國風土記第七十九

武藏國足立郡

小名山 七ヶ所 小岡 九ヶ所 河 三流 川 五流派 泉

三磯池 九ヶ所 原 六ヶ所 官祠 十二箇所 寺院

十二宇墳墓 六基

東限カハ北河越カハ西限カハ依田川カハ南限カハ石川カハ八幡カハ北限カハ箕

輪川カハ限カハ

産松竹梅挑大蕭蘿蔔杓杞養荷薑辛鶴鷹鳩

鳩カハ雲雀鯉鮎カハ鮎カハ鰻魚等

植田カハ郷カハ 公穀 三百七十二東三毛田

丹波叢書

中篤尚堂

凡五式

假粟二百十二九四字田

産柴胡川芍蓑薑蘿蔔等

植田神社 神田七十束三围田

孝安天皇諱日本足彦國押人天皇御宇庚寅

三月所祭經津主神也

箕輪川 出鯉鮒鮎鰻魚等

足立府 公穀二百八十二束三毛田

假粟百二十七九

出馭用

足立神社 神田六十束四围田

凡土成



大日本根子彦大日天皇御宇二年戊子所祭

猿田彦命也有神戶巫家等

巢鴨郷 公穀三百八十二束二毛田

假粟百八十二九四围田

出鶴雁鳩雲雀蘿蔔松桃諸菜等

氷川神社 神田百束十字田四围

觀松彦香殖稻天皇御宇三年戊辰所祭素盞

鳥尊大己貴奇稻田比咩合三座也

敷川郷 神田三十三束

觀松彦香殖稻天皇御宇三年戊辰所祭手摩

父足摩乳也各有神部巫家等

鯿川原 出鮎鰯諸鮮芹柴胡香薷等旱水共

為民用 已下虫食

握津郷 公穀二百 已下虫食不見

大調郷 或大都 公穀三百九十三束三毛四围田

假粟二百二十七丸

調神社 神田六十束二字田

稚日本根子彦大日天皇乙酉三月所祭瀨織

津比咩也 有神部巫戶

稻直郷 公穀二百六十三束三毛二围田

凡士武

飯田刻

假粟百三十四丸

出松 梅禾 蘿蔔諸禽等

多氣比咩神社 神田三十三束

津彦王手見 落字 天皇御宇 虫食 所祭栲機千々比

咩也

善福寺 寄田二十八束

元正天皇丙辰七月建之 之 大法師位空豪開基

也

已下虫食不見 八丁計本 此後虫喰不見七八葉許

右武藏國風土記足立郡之分以管黃門家本与

官本校合了惜哉脱誤漏紙多而失素出專備告
朔之羊而已

文明八年丙申三月下旬

一条 藤原兼久 冬本

武蔵國足立郡之風土記一卷以庭田羽林之家
本寫之了

元龜二年辛未二月下旬

清三位宗利

右之風土記武蔵足立郡之分以舟橋吏部之本
与中務家之本并合官本校合了所惜脱簡耳而

凡土武



失錯多焉 ナレテ 語用上

寛永八年仲夏初二 三本

交野兵部侍郎書之

日本惣國風土記第八十三

武藏國荏原郡或江原

入浦 二ヶ所 岡 三ヶ所 河 二流 川 一流 宮祠 七

箇所 寺 五宇 沢 三ヶ所

東限霞關西限佐日井戸之岡南限宇佐野北限

藤佐岡 虫喰不見

御田郷 或箕多 公穀三百六十七東

假粟三百十九丸

貢松竹蕨 虫食 蕨等又有諸會充大膳或木工寮

稗田八幡 圭田五十八東三字田



凡士武

所祭心神天皇武内宿称荒木田襲津彦等也
和銅二年己酉八月十五日始行神礼有神户
巫户等

己下虫食

赤坂庄

赤坂川

公穀三百六十九束三毛田
假粟二百二十三束

貢麥稗等又貢鶴鷺等

小六天神 或古呂故

圭田三十五束三毛田

天武天皇三年甲戌十一月始行神礼有神户
巫户所祭大己貴与少彦名園韓神也号小六

凡主武

飯田刻

者以古呂故岡之名也

淨園寺 寄田三十九

虫喰

櫻田郷

公穀四百六十三束三字田

号櫻田者以其郷之岡及野櫻樹多也

櫻田神社

圭田三十二束

虫喰

荏原神社

圭田二十八束

所祭天手力雄命也天智天皇六年始有神礼

荏原川

出鮮魚及諸苔之類

丹鳥叢書

虫喰

滿田^{ミナタ}郷 公穀三百七十二束五字田

出梅^{ウメ} 橘柑^{ダイダイ}等

滿田寺 寄田二十八丸

清宗法師安置藥師佛

虫喰^ビ不見^ク

右風土記殘冊十七冊之内武藏國荏原郡餘卷以藤大納言高基卿之家本与官本遂校合了

文和元年壬辰八月下旬

右一卷者以舟橋秀賢本校合了

凡土武

飯田刻

卜

寛永七年五月上旬

出納豊後守中原職忠

舟鳥叢書

日本惣國風土記第八十四

武藏國豐島郡

名浦 二ヶ所 岡 一ヶ所 河 二流 池 二ヶ所 泉 三

ヶ所 官社 九ヶ所 寺院 七ヶ所 墳墓 六基

豐嶋郡 或砥嶋郡 東限下谷岡 西限箕田 北限向岡

南限藍田川

貢横税鹿皮狐膽走兔血濱荻葭蓬鶴山 鶴馬

牛諸禽諸鮮放篋阿無見々與呂伊等

占方 或浦方

公穀六百七十二束三字田
横税假粟三百八十二九六字田

丹波叢書

飯田刻

凡土武

貢諸禽諸鮮苔菜之類

占方神社 瑞齒別天皇御宇六年戊申六月所

祭大物主神也 神貢百束

隨願寺 慶雲三年丙午依不比等之願而立之

寄田五十九

日頭 公穀四百八十二束二字田

假粟二百六十九三毛田

貢 葭蓬狐膽鶴鶴鴻雁等

白鳥神社 白雉二年辛亥五月所祭日本武尊

也神貢五十三束三毛田

凡土武

飯田刻

德業院 白鳳二年甲戌少僧都義 開基也寄

田三十九

江戸 或荏土 公穀五百九十二束三字田

假粟三百二十七丸三毛田

貢馬牛濱荻阿無見與呂伊等充左右馬寮与

武庫司

江戸神社 大宝二年壬寅所祭素盞鳴尊也

神貢百束三字田

真如院 和銅元年戊申九月義淵開基之地

也寄田三十九

丹波叢書

荒世陵瀬本 小泊瀬稚鷓鴣ワカサキ 天皇庚辰二月野見

茂臣有役死于茲

湯嶋 公穀六百七十二束三字田

假粟三百九十二九三字田

貢鹿狐走兔血山鶴手 馬牛等

湯嶋神社 雄略天皇御宇二年癸丑八月自官

所祭天手チカラ 雄神也

神貢百束三毛四字田

神田或韓田 公穀六百七十二束三字田

假粟三百八十三九三字田

凡五武

飯田列

貢己下虫喰

下谷岡 貢鹿狐兔狸山雉雀等 又貢薯蕷松

脂

篠輪津池 貢鯉鮒鰻魚鴻雁鶴鷺鴨等周行十

里許程旱日水不涸霖雨不為害祈旱兩人詣

于茲所祭瀬織津比咩也

荒墓郷 公穀四百五十束三字田

假粟二百六十三字田

此間虫喰

荒墓神社 大化二年丙午所祭猿田彦也

丹波叢書

神貢五十束三字田

廣岡 ヒラノカ 公穀四百七十二束三字田

假粟二百二十七九一字田

貢山鴿雉子狐狸等 一本タリ鴿禾

箕田 ミ 公穀三百九十二束

假粟二百二十七九三毛田

貢葭蓬馬牛等

箕田 ミ 八幡神社 虫食イ 天平六年辛未八月十五日自

宇佐官遷御于茲

神貢五十三束三字田

凡士武



此後虫喰不見 一本ナシ

右風土記殘冊十七冊之内武藏國豐島郡之餘卷也 一本ナシ 藤大納言高基卿之家本与官本校合之畢

文和元年壬辰十月二十五日

朝散大夫中原師行

右風土記以舟橋秀賢 家本 写之畢

明曆第二丙申被聽之書写之畢右當家之制

出也 書本

右風土記武藏部 一本ナシ 以於野村宗竹 一本ナシ 真本与中原職忠入道翠菴翁家本校合之畢

丹波郡書

万治元年戊戌七月中旬

交野内匠頭 在判

一本云享保九甲辰下夏下旬

神主源頼久写之

一本云享保七年壬寅正月有台命下令於諸國求官庫國史之闕卷矣國府之官吏津田正房二月以書目令之予焉予告云嚮武江之跡部光海翁傳写予家蔵之書而前日已献官府焉予亦呈上之則贅出無其益欵津田氏商量以告武江之官府予三月五日復令以予家蔵之舊本而出之

凡五武



一本云享保七年壬寅正月有

台命求官庫國史之闕卷同氏良敬之官司金田周防守正明令之於良敬故予家蔵之書五卷呈之正明令遣之於林信充焉信充商量而返之又正明令二月十九日朝良敬持之往國老水野和泉守忠之之宅而献之也右五卷写留之以為家蔵云

享保七壬寅二月日

光海翁

源良顯



凡士武

